



# YOKOHAMA ASAHI ROTARY CLUB WEEKLY

世界へのプレゼントになろう

「世界へのプレゼントになろう」 *Be a gift to the world*

2015-16年度 RI会長/K.R.“ラビ”ラビンドラン RI/D2590ガバナー/箕田 敏彦 横浜旭RC会長/新川 尚

国際ロータリー第2590地区

## 横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区二俣川1-2 後藤ビル2F

TEL.045-365-3273

FAX.045-365-3132

Email:asahirc@titan.ocn.ne.jp

〒241-0821

例会場 二俣川相鉄ライフ4Fコミュニティサロン

例会日 毎週水曜日/12時30分~1時30分



2016年1月13日 第2227回例会 VOL. 47 No. 25

■司 会 SAA 後藤 英則

■開会点鐘 会 長 新川 尚

■齊 唱 我等の生業

SL 秋内 繁

### ■出席報告

会 員 数	32 名	本日の出席数	21 名
本日の出席率	84%	修正出席率	92.31%

### ■本日の欠席者

関口、田川

### ■ビジター

北瀬 達也様 (横浜 RC)

### ■ゲスト

岩本 勇様 (静岡福祉大学社会福祉学部専任講師)

### ■ポールハリス、ベネファクター表彰



ポールハリス表彰 増田会員、斎藤会員

ベネファクター表彰 新川会員

### ■会長報告

皆様こんにちは、昨日からまた冷え込んで

きました。体調にはくれぐれもご注意いただきたいと思います。

今週の日曜日、月曜日(10、11日)は交流会、チャリティーコンサートが開催されました。交流会では、常盤木学園の生徒10名をはじめ約60名の生徒に参加いただき、それぞれ、学校や、バンドの自己紹介をしてもらいました。旭区長にもご参加頂き、生徒達へ熱い激励の言葉もいただきました。コンサートでは、冒頭に震災時のビデオを流し、岩沼RC田中会長に挨拶いただきました。田中会長の言葉は観客、生徒達の心にズシンと重く響いたことと思います。演奏は、生徒達が日ごろの練習の成果を存分にぶつけてくれて、相当盛り上がったと感じました。生徒達の生き生きとした目を見ると、また頑張ろうと思いました。

仙台の常盤木学園の生徒達も不慣れな環境の中、頑張ってくれました。また、ロビーでは震災の写真の他に、岩沼の子ども達の絵が展示され、来場者の目を引いていました。チャリコン部会の方々、ご協力、ご参加頂いた方々、本当にお疲れ様でした。

お蔭様で募金総額が10万円を超えることが出来ました。関係者全ての方に深くお礼を申し上げます。

岩沼RCからお土産をいただきました。是非、召し上がってください。

## ■幹事報告

### 1) 例会臨時変更のお知らせ

#### ○横浜田園ロータリークラブ

日時 2月2日(火)→1月27日(水)

点鐘 午後6時15分

7クラブ合同夜間移動例会

場所 新横浜国際ホテル南館2階チャール

日時 2月23日(火)→27日(土) IM

点鐘 午後1時30分

場所 新横浜国際ホテル

### 2) 1月27日(水)は7クラブ合同例会です。

## ■地区ロータリー財団補助金管理セミナー報告

青木 邦弘

日時 12月14日午後3時～5時

場所 メモリアルプラザソシア 21

第1部 R財団活動の実施と参加資格の認定、  
R財団の位置づけ

第2部 R財団補助金申請、実施、報告

寄付の分類につきましてご存知のとおりですが、年次寄付の50%が3年後にDDF(地区活動資金)残り50%がWF(国際活動資金)にあてられています。

2014-15年度の地区補助金は6,120,000円でした。内、横浜旭RCは東日本大震災被災地保育所への支援としまして431,840円を頂いております。2015-16年度は高校生被災地体験地域貢献奉仕活動プロジェクト3,050ドルの申請をしております。又、財団への寄付は今年度現在、28万円です。

## ■雑誌委員会

杉山 雅彦

ロータリーの友 2016年1月号

### ○横組み

P3. RI指定記事RI会長メッセージ

RI会長ラビンドラン氏「一人の飢えた子どもに食べ物を与える時、読み書きのできない人に教育の機会を与える時、一人の子どもを疾病から守る時、その影響力はごくわずかのように見えるかもしれませんが、決してそんなことはありません。私たち一人ひとりの活動や贈り物の力があってこそ、数の力が発揮でき、すなわち私たちが目指す『世界のプレゼントになろう』という真の影響力を持つことができるのです」と、ラビンドラン会長は

呼びかけています。

P30-31 よねやまだより

“よねやま”から広がる新しい世界⑩

寄付に込める思いと願い

米山記念奨学事業は、ロータリアンからの寄付によって支えられていますが、近年、学友からの寄付もふえています。「お世話になった恩返しに」「後輩を応援するために」との思いのこもった学友からの寄付金は総額2,500万円以上になります。

今回ご紹介する張虞安(チョウ ユウアン)さんもその一人で、2007年から毎年10月の米山月間にアメリカからの寄付を続けています。張さんと彼の世話クラブを務めた交野RCの元会長、安養寺敏彦さんにお話を伺った記事が載っています。

P32 パズル de ロータリー

昨年8月号から始まったこのコーナー。ロータリーの事はよくわからない、という人もご心配なく、パズルは一般的な問題で、ご家族の方も楽しめます。正解者へは毎月10の方にロータリーのロゴ入りオリジナルペンをプレゼント(2色ボールペン+シャープペン)です。

### ○縦組み

P4-8 挑戦 二戸から世界へ

榎南部美人五代目蔵元代表取締役久 慈浩介氏  
僕は地方の小さな会社でもオンリーワンの商品があれば世界を相手にした商売ができると思っています。世界では日本の伝統産業こそがオンリーワンとなります。お客様本位の商売は基本的に、日本でも世界でも変わらないとおもっています、と日本酒を世界に向けて発信する試みが紹介されています。

P18-19 卓話の泉

例会での卓話を要約して掲載されています。この欄は各クラブからロータリーの友事務所に定期的に送っていただいた会報、週報から一般的に豆知識として活用いただけるような卓話を選び、掲載しています。今回は3点

①酒の話

②ラーメンのルーツ

③成年後見人制度

特にラーメンのルーツは新横浜ラーメン博物館営業戦略事業部長の湧井様の卓話で「日本で最初にラーメンを食べた人は水戸黄門」と、ラーメンの歴史について綴られています。

#### ■チャリティーコンサート部会 福村 正

1/10、11にわたり横浜旭ロータリークラブチャリティーコンサートと青少年交流会を無事盛会の内に終える事ができました。皆様のご協力に感謝しています。両日にわたり旭区の澤陽太郎区長の出席をいただきました。



岩沼 RC、常盤木学園の生徒さん達と

#### ■ニコニコ BOX(会員敬称略)

北瀬達也様(横浜 RC) / 本年の貴クラブの益々の発展をご祈念申し上げます。

新川 尚 / ①チャリティーコンサートお疲れ様でした。②岩本様、卓話宜しく申し上げます。③北瀬様、ようこそ!

市川 慎二 / ①静岡福祉大学 岩本様、本日は宜しく申し上げます。②先日のチャリコンでは皆様お疲れ様でした。音楽を通じて伸び伸びと表現している学生に感動しました。企画から当日まで福村さん、新川さん有難うございました。③北瀬さん、ようこそ。

吉原 則光 / 岩本様、ご多忙のところ卓話有り難うございます。よろしく申し上げます。

鈴木 茂之 / 皆さん、こんにちは。本日の卓話は、私が大変仲良くさせていただいている方をお願いいたしました。ご近所なのでいずれ私どものクラブに入会してくれると思います。皆さん、よろしく申し上げます。

安藤 公一 / ①第5回チャリティーコンサートは岩沼 RC より7名、常盤木学園より先生を含め11名の参加者で大成功でした。新川会長、福村委員長他ご参加された皆様、お疲れ様で

した。②同日行われた全国高校ラグビー決勝で桐蔭学園は惜しくも準優勝でした。応援ありがとうございました。

内田 敏 / ①鈴木さん、本日のフォーラムよろしく申し上げます。②11日のチャリティーコンサートお疲れ様でした!

斉藤 善孝 / ①岩本勇様、本日は卓話宜しく申し上げます。②北瀬さん、ようこそ。

五十嵐 正 / ①先日のチャリコンでは、皆様お疲れ様でした。②静岡福祉大学の岩本先生、本日はよろしく申し上げます。

北澤 正浩 / ①岩本様、本日は卓話宜しく申し上げます。②北瀬さん、ようこそ。③チャリコン関係者の方々、お疲れ様でした。

佐藤 利明 / ①職業奉仕フォーラム担当、鈴木さんご苦労さまです。岩本勇先生、卓話よろしく申し上げます。②横浜 RC 北瀬達也君、地区副幹事として頑張っておられること、大変嬉しく思います。③チャリコンの関係者の皆様ご苦労様でした。

佐藤 真吾 / ①先週の例会に参加できなかったもので、遅ればせながら。新年明けましておめでとうございます。本年もよろしく申し上げます。②岩本様、本日はようこそお越し下さいました。卓話よろしく申し上げます。③横浜 RC 北瀬様、ようこそ。④チャリティーコンサートにご参加の皆様ご苦労様でした。皆さん、明けましておめでとうございます。

#### ■卓話

「歴史を振り返って日本の流通を考える」

静岡福祉大学 岩本 勇



ご紹介にあずかりました静岡福祉大学の岩本勇と申します。本日はこのような格式のある場所でお話しできる機会を頂戴しまして、



誠にありがとうございます。

まず簡単に自己紹介をさせていただきます。本業は経営コンサルタントですが、そのほか静岡福祉大学社会福祉学部福祉心理学科専任講師、静岡産業大学経営学部兼任講師、日本産業経済学会常任理事、日本企業経営学会理事、日本卸売業学会幹事という役職で活動しております。二足のわらじどころか、様々な方面での組織に所属しておりますが、ただ私が追求している専門分野は「流通システム科学研究」の一つです。この研究に着手してから二十数年経過し、いつの間にか様々な組織に所属するようになっておりました。今日は何をお話ししようかと悩んだのですが、専門分野の流通に関する話をさせていただきます。大学時代に戻った気持ちで参加くだされば幸いです。

それでは、「流通とは何か」という話から進めます。流通という用語を聞くと、コンビニとかスーパーとか、いわゆる小売業をイメージされる方が多いと思います。小売業は流通の一分野であります。全体像を捉えたものではありません。そもそも流通の概念を説明するには、社会システムの全体像を見据える必要があります。流通とは、自給自足から分業システムに移行することによって生まれる機能であります。

自給自足とは、歴史を遡り、人間が生活する家族単位で、生活費需品を自ら生産して自ら消費する姿を現しています。例えば日本の場合、紀元前300年ほどまでは縄文時代であって、貝など自然に生息する食料を捕って生きてきましたが、弥生時代では稲作が導入され、農業によって食料の生産を始めましたが、これらの社会は自給自足という表現が適しています。

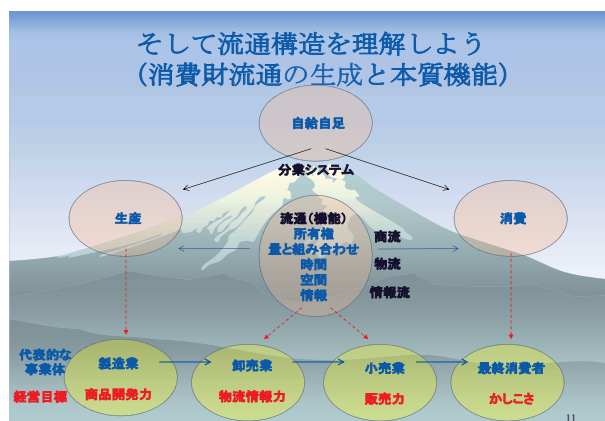
この自給自足の社会から、分業システムに移行しますが、この分業システムとは生産と消費の分離を意味しております。自給自足よりも分業システムのほうが、生産量が飛躍的に伸びますので、ごく自然に人類に浸透します。自給自足は現在でも、例えばアマゾンの奥地であるとか、アジアの山深い地域である

とか、そのような僻地に少数民族が自給自足で暮らしておりますが、そのような例外を除けば、世界人口70億人の地球全体が分業システム内で機能しあっている関係にあります。

自給自足から分業システムに移行することにより、新しい問題、課題が発生します。この課題、問題を、学術的には懸隔と呼びます。代表的な懸隔は5つあり、所有権、量と組み合わせ、時間、空間、情報です。例えば自給自足では生産と消費が同一人物であるため、所有権を移転する必要はありません。しかし分業になりますと、生産者から消費者に財サービスが移転する際に所有権を移転することが必要になります。

つまり生産者側は財サービスを与え、消費者側は貨幣という対価と交換するのです。量と組み合わせとは、生産者は生産効率を高めるために生産物の商品カテゴリーを限定し、大量に生産しようとしています。一方消費者は生活に必要な様々な物資を生きるのに必要な分だけ消費します。少品種大量生産と多品種少量消費という、それぞれの方向性が異なるので、誰かが調整しなければなりません。同様に生産する場所と消費する場所のギャップ、生産する時期と消費する時期のギャップ、生産情報や消費情報の分断など、分業システムによって生まれた課題問題が存在し、これらを懸隔と呼ぶのです。そして流通とは、これらの懸隔を除去調整する活動であります。

生産、流通、消費という機能に対して、それらをどのような事業体が担っているかを表現しますと、生産が製造業、流通が卸売業と小売業、消費が最終消費者と表現されます。懸隔は永久に変わりませんが、事業体は、そ



の時代時代に最も合理的効率的に運営できる企業が生き残りますので、常に変化しております。

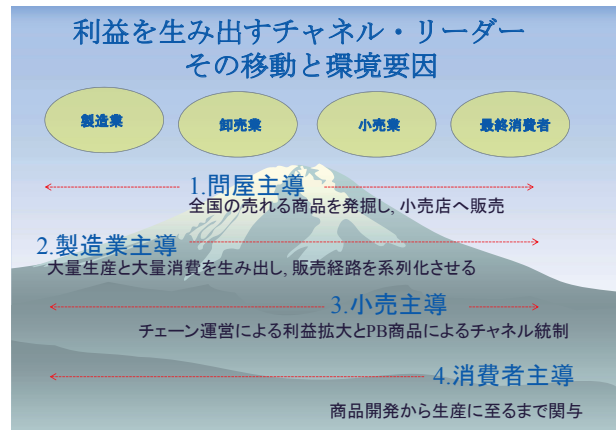
次に話の角度を変えてチャンネルに関する話をします。生産から消費に至る道筋をチャンネルまたは流通経路と学術的には表現します。そしてマーケティング、つまり競争技法上の流通経路の設計をマーケティング・チャンネルと称しますが、このマーケティング・チャンネルとは、概念的には特定の生産者が最終消費者に至る流通過程全体を自社製品の固有の販売経路として設定したものを指します。

そしてチャンネル上での起点をチャンネル・リーダーと呼びますが、チャンネル・リーダーとは、商品流通における主導権を握る企業であり、取引価格や取引数量などの取引条件の発言力を強く持つ企業で流通経路を統制する役割を持つ企業のことです。表現が難しくなりましたが、言いたいことはこのチャンネル・リーダーが、時代に応じて移動するということです。

日本を例にとって考えてみましょう。室町時代では古事記などの文献に商人の様子が記載されておりますが、現代のような大衆社会に流通が現れたのは江戸時代中期のころ、近江商人が全国の流通ネットワークを築いたころと言われております。これは卸売業主導または問屋主導と呼ばれるチャンネルで、士農工商と呼ばれる身分制度の中、商人に多くのお金が集中しました。

その後戦後に入り、日本における大量生産大量消費の時代に入ります。製造業者は大型の工場を建設し、そこで大量生産した商品を、マスメディアによるプロモーション活動を通じて、大量に販売する方法に成功します。流通経路は特約店制度などを使って、卸売業や小売業を系列化させます。

1970年代から小売業がチェーン展開をはじめ、1980年代にはスーパーやコンビニなどの販売網を築き上げます。これが小売主導型の流通システムであります。そして将来は、消費者主導の流通システムが構築されると考えられています。



つまりこれらのチャンネル・リーダー移動が意味することは、生産と消費が接近する新流通を現しており、これは分業システムでありながら、懸隔が高い精度で調整される姿を現していると思うのです。今回のお話で、最も強調したかったことは、自給自足から分業システムに移行し、現在までに卸売業、製造業、小売業、消費者へとチャンネル・リーダーが移動し、最終的には消費者自身が生産と結びつく自給自足型に戻ろうとしているのではないかという仮説です。この仮説検証のため、現在わたくしは研究を続けております。

最後にこの仮説を前提とした消費者起点の流通システムのマーケティング戦略理論を説明します。既にこの考え方は一般論になりつつあると思いますが、生産者起点と消費者起点の違いを以下示します。

伝統的なマーケティング戦略論では、4p's が有名です。但しこの考え方は生産者起点での考え方です。消費者起点では4c's という考え方に変化します。すなわち、今までは製品開発 (Product) の際には自社の優位性を中心に検討しましたが、顧客価値 (Customer Value) を重視した開発に変えるべきというこ

新流通のマーケティング戦略	
生産者起点 (4p's)	消費者起点 (4c's)
製品 (Product)	顧客価値 (Customer Value)
価格 (Price)	顧客にとっての経費 (Cost)
流通 (Place)	顧客利便性 (Convenience)
広告 (Promotion)	顧客とのコミュニケーション (Communication)

注記: 生産者主導(製品志向)のマーケティングは、戦略計画を立案する際に、1961年にアメリカのマーケティング学者ジェローム・マッカーシーによって提唱されたいわゆる「4P」に立脚して考えてきた。ロバート・ローターソンによって、1993年「買手側の視点による「4C」という分類がなされた。これは、4Pが売り手側の視点で捉えられているとし、消費者の視点で捉え直そうというものである。

と。価格設定 (Price) は、自社が目標とする利益を中心に置くのではなく、顧客にとっての経費 (Cost) 判断を重視すること。流通 (Place) は顧客利便性 (Convenience) を考えること。広告 (Promotion) は顧客とのコミュニケーション (Communication) の在り方を検討すること。このような考え方の変化が生産起点から消費起点への変化を意味しています。

最後に本日の話を皆さんのビジネスに応用して、是非経営を考えてみてください。今回の機会を頂戴しましたご縁に感謝致します。

皆さんの今後の発展を祈念致します。本日は、ありがとうございました。

■次週の卓話

2/3 (水) 安藤 達雄会員 「私の生き様」

週報担当 漆原恵利子

2015～2016 年度 第十二回 理事会議事録	
日時 平成 28 年 1 月 6 日 (水) 18 時 30 分より	出席者 新川尚 青木邦弘 福村正 関口友宏 五十嵐正 田川富男 増田嘉一郎 市川慎二
場所 仕立屋	欠席者 安藤公一 佐藤真吾 太田勝典 二宮麻理子
<b>【報告事項】</b>	
地区	
1 月 17 日 (日) 9 : 30 ~	第 48 回インターアクト年次大会 関東学院中学校高等学校
1 月 20 日 (水) 18 : 00 ~	第三回会長幹事会 新横浜国際ホテル 市川
1 月 27 日 (水) 18 : 15 ~	7 クラブ合同例会
2 月 27 日 (土) 13 : 30 ~	I M 新横浜国際ホテル
クラブ	
1 月 6 日 (水) 18 : 30 ~	第十二回理事会 仕立屋
1 月 10 日 (日)	岩沼 R C ・地元高校生との交流会 K K R ポートヒル横浜
1 月 11 日 (月) 13 : 00 ~	チャリティーコンサート 保土ヶ谷公会堂
1 月 20 日 (水) 18 : 30 ~	第四回クラブ協議会 クラブ事務所
2 月 3 日 (水) 18 : 30 ~	第十三回理事会 クラブ事務所
クラブ会計報告	
<b>【審議事項】</b>	
1 事務局佐藤さんの連休について 3 月 13 日 (日) ~ 3 月 20 日 (日)	承認
2 チャリティーコンサートお手伝い参加者のメーキャップについて チャリティーコンサート参加者はメーキャップ扱いとする。	承認
3 ガバナーノミニー候補者推薦について 締切 1 月 18 日 (月) 当クラブより推薦する候補者は、今期なしとする。	承認
4 2 月 27 日開催の I M 負担金支出について 256,000 円 (8,000 円 × 32 名) を支出する。	承認
5 倉本会員の出席規定免除の扱いについて 1 月 6 日付で本人より申請がありました。 ・生年月日 昭和 15 年 7 月 24 日 (満 75 歳) ・入会日 平成 15 年 9 月 3 日 (10 年 3 ヶ月) 当クラブ定款第 9 条第 3 節 b 項に該当となり、1 月 6 日より適用とする。	承認